

2 法適用企業の経営状況

(1) 損益収支

令和元年度の経常収益（営業収益＋営業外収益）は1,097億18百万円、経常費用（営業費用＋営業外費用）は1,014億13百万円となっており、経常収支比率（経常費用に対する経常収益の割合）は108.2%と収支均衡点である100.0を8.2ポイント上回っている。前年度に比べ0.8ポイント増となっている。

また、令和元年度の経常収支において経常損益が黒字であった事業は、83事業のうち74事業、89億98百万円（前年度80億47百万円）となっており、一方、経常損益が赤字であった事業は9事業、6億92百万円（前年度11億32百万円）となっている。

経常損失の状況を事業別にみると、水道事業（簡易水道事業を含む。）が43事業中3事業で1億9百万円の経常損失を生じたのを始め、病院事業は7事業中4事業で5億45百万円、工業用水道事業は9事業中2事業で38百万円となっている。

(2) 累積欠損金

営業活動による各事業年度の損失（赤字）額が累積された累積欠損金は、令和元年度末において65億62百万円で、平成30年度末の80億46百万円に比べ、14億84百万円減となっている。

累積欠損金を有する事業は9事業となっており、事業別にみると、病院事業が7事業中4事業で54億86百万円と最も多くなっている。また、前年度との比較でみると、水道事業で10百万円増、工業用水道事業で22百万円増、病院事業で15億56百万円減となっている。

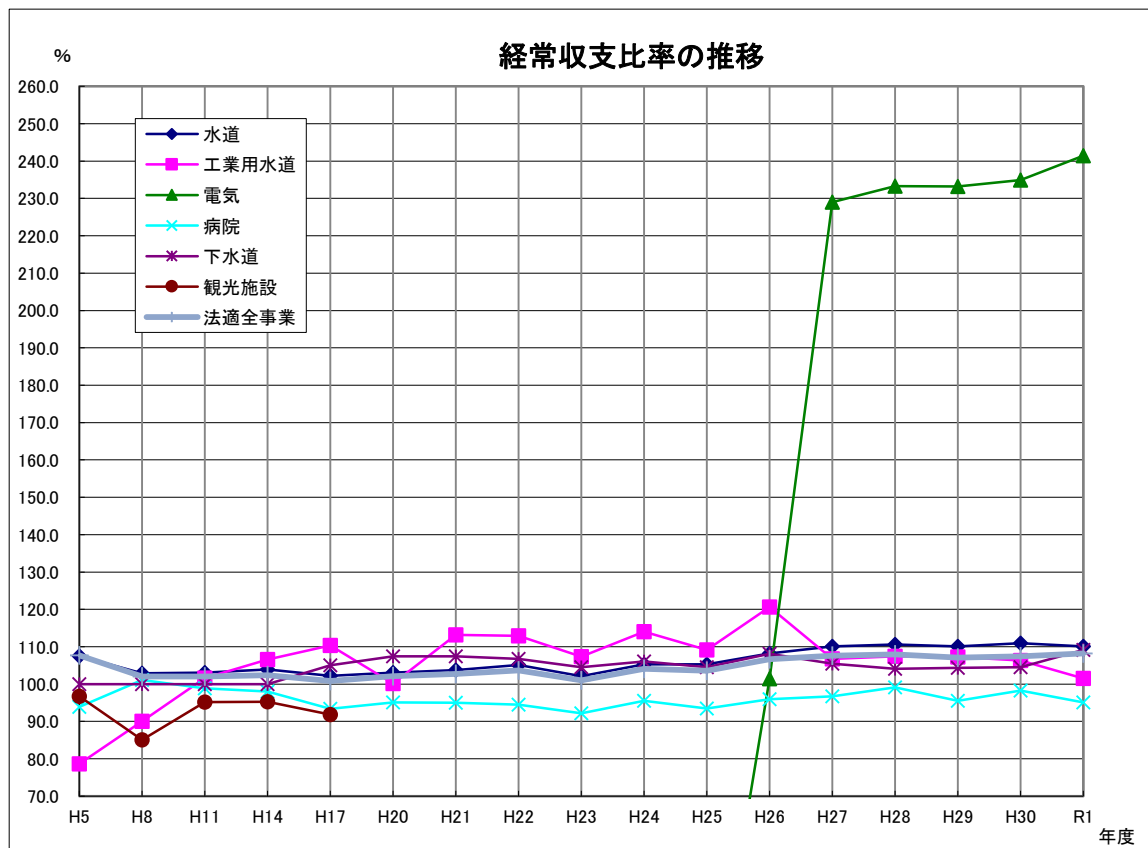
(3) 不良債務

流動負債の額が流動資産の額を超える額である不良債務を有する事業は、令和元年度末において0事業となっている。

法適用企業の事業別決算状況

(単位:百万円)

事業 項目	水道 (簡易水道含む)	工業用水道	電気	病院	下水道	合計
総収益 (A)	66,120	690	99	10,258	33,005	110,172
経常収益 (B)	65,787	687	99	10,252	32,893	109,718
営業収益	58,443	554	99	8,711	13,525	81,332
総費用 (C)	59,875	680	41	10,826	30,401	101,823
経常費用 (D)	59,774	677	41	10,777	30,144	101,413
経常損益	6,013	10	58	△ 525	2,749	8,305
経常利益	6,123	48	58	20	2,749	8,998
経常損失 (△)	109	38	0	545	0	692
純損益 ((A) - (C))	6,245	10	58	△ 568	2,604	8,349
累積欠損金	166	870	0	5,486	40	6,562
不良債務	0	0	0	0	0	0
事業数	43	9	1	7	23	83
うち建設中	0	1	0	0	0	1
経常損失を生じた事業数	3	2	0	4	0	9
累積欠損金を有する事業数	1	2	0	4	2	9
不良債務を有する事業数	0	0	0	0	0	0
経常収支比率(B)/(D) (%)	110.1	101.5	241.5	95.1	109.1	108.2
総収支比率(A)/(C) (%)	110.4	101.5	241.5	94.8	108.6	108.2



(4) 資本的収支

令和元年度における資本的支出は663億98百万円で、前年度の667億16百万円に比べて3億18百万円減少している。この内訳は建設改良費が377億58百万円で、前年度の415億59百万円に比べ38億1百万円減少しており、企業債償還金が280億75百万円で前年度の249億58百万円に比べ31億17百万円増加している。

これに対する財源は、企業債が199億42百万円、他会計繰入金が65億19百万円、国県補助金が48億80百万円となっている。

資本的支出に対する財源不足額は330億87百万円で、補てん財源は329億84百万円となっており、1億3百万円の補てん財源不足が生じている。また、補てん財源のうち過年度分損益勘定留保資金が42.5%を占めている。

次に企業債元利償還金の状況を見ると、令和元年度の企業債元利償還金は345億24百万円で、前年度の311億04百万円に比べ34億20百万円増加している。

料金収入に対する企業債元利償還金の割合は46.1%で前年度の42.9%に比べ3.2ポイント増加している。これを事業別にみると、下水道事業が148.4%で最も高い割合を示しており、続いて電気事業53.5%、工業用水道事業41.1%となっている。

法適用企業の事業別資本収支の状況

(単位:百万円)

事業 項目	水道	工業用水道	電気	病院	下水道	合計
資本的支出	38,361	248	51	1,618	26,120	66,398
うち建設改良費	26,136	69	0	318	11,235	37,758
うち企業債償還金	12,202	180	51	835	14,807	28,075
資本的収入	16,935	112	0	1,240	15,068	33,355
うち企業債	12,899	8	0	68	6,967	19,942
他会計繰入金	1,785	100	0	704	3,930	6,519
国県補助金	1,228	4	0	5	3,643	4,880
財源不足額	21,426	136	51	378	11,096	33,087
補てん財源	21,426	136	51	275	11,096	32,984
補てん財源不足額	0	0	0	103	0	103

料金収入に対する企業債元利償還金

(単位:百万円)

事業	項目	料金収入 (A)	企業債 元利償還金 (B)		料金中償還金 (B)/(A) (%)
			企業債償還金 (C)	企業債利息 (D)	
水道		55,347	15,029	2,827	27.2
工業用水道		513	211	31	41.1
電気		99	53	2	53.5
病院		6,543	967	132	14.8
下水道		12,309	18,264	3,457	148.4
合計		74,811	34,524	6,449	46.1

料金収入に対する企業債元利償還金の割合

